

K 京都ビルメンニュース

KBMA



発行：公益社団法人京都ビルメンテナンス協会 〒612-8419 京都市伏見区竹田北三ツ杭町 45 番地 アイビー・ビル 2A
 TEL 075-606-1258 FAX 075-606-1259 ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>
 編集：広報委員会 委員長 山下耕平 2023年1月発行

第16回 こども絵画コンクール 京都協会賞 銀賞 作品のご紹介



【幼児の部】

「山をキレイにする車」
 齊藤史帆(3才) (株)浄美社



【1、2年生の部】
 「おそうじスライム」

野津あいな(2年)
 和光建物総合管理(株)



【3、4年生の部】

「動物とおそうじ」
 山本瑞稀(3年)

(株)浄美社



【5、6年生の部】

「みんなが起きる前にロボット達が
 キレイにしておいてくれる」

山田依真(6年)

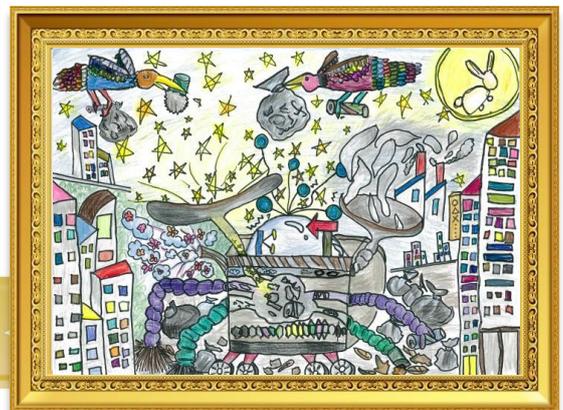
近建ビル管理(株)

こども絵画コンクール
 京都協会賞の受賞作品はこちら→



- 国際アビリンピックフランス大会
- 京都府代表下内寿也さん 日本代表に決定!!
- 第42回全国アビリンピック(全国障害者技能競技大会)
- 京都府代表池田航太郎さん 銅賞受賞!!
- 新年のごあいさつ

- ▼子供向けおそうじ動画配信中
- ▼令和4年度京しごと技能検定 無観客にて開催
- ▼京都ビルメンテナンス協会 新年合同賀詞交歓会 開催



おそうじロボット大活やく



第16回ビルメンテナンスこども絵画コンクール
 金賞 全国協会長賞 洛南高等学校附属小学校
 岡田 颯(3年)



公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
 法人 Kyoto Building Maintenance Association

「あたたかい京都づくり」へ邁(まい)進

京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない〜They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself〜」。これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を

開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年はい卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



令和4年度 防除作業従事者研修 開催

2022年10月20日(木) 8:50~17:30 京都ビルメンテナンス協会 講習会場



令和4年10月20日木曜日「防除作業従事者研修」が開催されました。京都協会藤井会長による開講挨拶から始まり、1章建築物の環境衛生行政の講習は建築物における衛生的環境の確保に関する法についてなど、ねずみ昆虫防除業における法律の講習。法律制定についてや管理基準・防除基準についてなど非常に難しい内容にも参加者全員が熱心に受講されました。続いての講習はゴキブリ・蚊・ハエ・ダニ等の対策や防除法に関してお話し頂きました。また SFTS について感染状況や死亡者数など最近のアウトブレイクにも関係のある内容や、各害虫に於ける生態や対策の進め方・維持管理水準についてお話し頂きました。

2章に於きましては、コンプライアンスについてペストコントロールに関わる事例をもとにした内容で、皆さんが今後直

面する可能性がある興味深い内容でした。またコンプライアンスとはどのようなものか、サービスマンとしての心得を講義していただきました。

午後からの講義は食品から発生する虫、木材から発生する虫など多種にわたる害虫について、現場作業での経験や実際に実施した駆除方法など実践に直結するような講義をしていただきました。実際に家に出てほしくない虫はトコジラミとのこと。

午後2つ目の講義はネズミの生態と防除について、3種のネズミを例に生態・見分け方の説明、作業方法については実際の現場写真を用いてネズミ防除とはどのような場所を見て作業を行っているのかを解説されました。

最後に防除作業の事故や危険性については、事故事例や薬剤処理方法について、エアゾール剤の爆発実験についてや薬剤保管について講義が行われました。

どの講義におきましても今後の作業に直結するお話で、参加者の知識や作業レベル向上につながる有意義な講義と思われました。

広報委員会 村井 映之

習生より

ちょうど2年前の2021年1月。感染症拡大の真ただ中に航空便の欠航、入国制限、PCR検査、14日間の隔離期間、通常なら経験しないような入国スケジュールで、約2日間の長旅を経て日本に来てくれた実習生たちも、技能実習3年目に入りました。そろそろ実習後の進路を考えるタイミングです。当監理団体にとっては初めて受け入れた実習生というころもあり、まだ帰国するとも聞いていないのに、「ベトナム帰っても覚えててくれるかな？連絡くれるかな？」などと、今からいらぬ心配をし、こっそり寂しさを感じています(笑)

「行財政改革」と「文化を基軸とした成長戦略」で 京都を未来へ

かど かわ だい さく
京都市長 **門川 大作**

あけましておめでとうございます。

この一年の皆様の御多幸をお祈りいたします。

さて昨年は、コロナ禍から市民の皆様の命と健康、暮らしを守り抜く。持続可能な行財政の確立に向けて改革に邁進し、危機克服へ前進を見た一年でした。皆様の御理解と御支援に心から感謝申し上げます。

また、「地域の絆、伝統文化の灯を絶やささない」。多くの方々の御尽力で、感染防止策を徹底しつつ、地域活動が再び盛り上がりを見せた年でもありました。時代祭、祇園祭をはじめ、各地での行事等に感激しました。

そして本年、いよいよ文化庁が京都へ。また、京都芸大・美術工芸高の崇仁地域への移転や、東九条、梅小路、菊浜をはじめ、全市で文化を基軸とした取組が飛躍します。文化芸術が経済価値を生み出し、経済が文化を支える。京都ならではの文化と経済の好循環を創り出し、暮らしの豊かさに繋げてまいります。

さらに、京都の景観の骨格を守りつつ、まちの発展を目指した都市計画の見直し、企業誘致や子育て支援等の取組で、住む場所・働く場を創出して若い世代にも選ばれるまちへ。同時に、脱炭素・環境保全の取組、ウクライナ・キーウ市への支援等を通じて、世界平和やSDGsの達成にも貢献していく決意です。

一方、本市の厳しい財政状況。多くの方からその原因を聞かれます。大きな要因の一つが、国の「三位一体改革」。17年の間に、成長戦略等で本市の税収は330億円増加も、国からの地方交付税は612億円減少し、差し引き、年間282億円の減に。この間、職員3,800人削減等の改革も断行。財政が厳しくとも、全国トップ水準の福祉、教育、子育て支援、安心安全等の施策を維持向上させてきましたが、その中で、将来の借金返済のために積み立てている公債償還基金の計画外の取り崩しを余儀なくされました。そこにコロナ禍です。

こうした実情を改めて全てご説明し、一昨年8月に「行財政改革計画」を策定しました。3年間を集中改革期間とし、皆様の御理解の下、全庁挙げて徹底的に改革を進めた結果、この2年間で計画を大きく上回る収支改善（447億円）を達成。公債償還基金の枯渇は回避し、また、本市が返済の責任を負う市債残高は、市長就任以降、全会計で3,800億円、19%削減。皆様の御協力に感謝。

依然難局は続きますが、「若い世代に負担の先送りはしない」との覚悟を胸に、皆様への丁寧な説明に留意しながら、全力投球します。この間の御理解と御支援に心から感謝し、一層の御指導をお願い申し上げます。



第25回ビルメンテナンス青年部 全国大会 IN 兵庫 2022年10月20日(木) ANAクラウンプラザホテル神戸

京都協会青年部の
YouTube
チャンネル →



標記日程にてコロナのパンデミックから3年ぶりの全国大会に青年部から7名で参加致しました。

講演第一部では株式会社ビケンテクノの創業者である梶山高志氏の築いてこられた歴史とこれからの未来をディスカッション形式でお話いただきました。

第二部では南極観測隊員の伊達元成氏が地球に

いま何が起きているのかを南極で体験した事柄を交えてお伝えいただきました。ビルメンテナンス業の中で環境を維持管理しながら自然への負担を減らすヒントをいただきました。

北海道から鹿児島まで合計21の都道府県から130名の青年部員が参加され、講演後の懇親会では各地域ならではの取り組みを話し合え、AIロボットについて意見や情報を交換し合い、有意義な時間を過ごせました。

青年部会 酒部 浩二

装栄ビルメンテナンス総合資機材展 2022 青年部出展

2022年11月8日(火) 京都パルスプラザ

標記資機材展にて、京都ビルメンテナンス協会新規会員募集活動を青年部で行いました。

30分のセミナーの時間をいただき、当協会の活動内容と入会するメリットを発信させていただきました。また、ブースでは入会金半額キャンペーンの案内と当協会に対するアンケートを実施しました。アンケートは当協会の認知度や入会検討の有無、またどのような協会なら入会したいと思うか？等の内容で、来場者様に記入いただきコロナ感染症対策として、使用された『京都



ビルメンテナンス協会』ネーム入りボールペンはお持ち帰りいただきました。今回の活動で経験したこと、アンケートの結果を生かして、引き続き募集活動をしていければと思います。

青年部会 中村 祐也

新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 藤井 忍



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年をすこやかに迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

協会員の皆様には、平素より協会運営にあたり格別のご理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様もご存知の通り、約3年におよぶ、新型コロナウイルスの影響もあり様々な事業が制限され中止を余儀なくされた事業もございました。

協会といたしましては、理事会・委員会・事務局と連携を取りこのコロナ禍で何が出来るかと、議論を重ね、出来る限りの事業をこなしてまいりました。

特に動画配信・二部制に分けての講習会など、様々な工夫を重ね事業に取り組んで参りました。協会員の皆様・事務局には大変ご苦労おかけました、改めてお礼申し上げます。

特に、良い報告といたしましては、昨年11月に千葉県にて行われました、第42回全国アビリンピック技能競技大会においては、ビルクリーニング部門で京都府代表の京都市立鳴滝総合支援学校の、池田航太郎さんが、銅賞、全国3位という輝かしい成績をおさめられました。本当におめでとうございます。当協会がアビリンピックに携わり11大会連続入賞となりました。

そして、令和2年度、全国アビリンピック技能競技大会で銀賞をおさめられました、丹波支援学校卒業・現在、当協会 所属、マイ・スター株式会社に勤務の下内 寿也さんが第10回国際アビリンピック・フランス大会・クリーニングサービス種目に、日本代表として出場されます。京都代表・日本代表として、日頃の成果を遺憾なく発揮して下さい、祈念いたします。

そして残念な報告といたしましては、やはりコロナの影響もあり、この数年間で何社かの退会が残念でなりません。新たな入会もあり新しい仲間もふえましたが、わたくしが切に願っております、協会員の増強はまだまだ目標に至りません。元気ある京都協会を目標に、改めて、協会員の皆様にご理解と御協力をお願い致します。

昨年度は、コロナ禍に加え、ウクライナ紛争、円安の進行など先行きの読みにくい1年であったかと思えます。

本年度は 兎(うさぎ)年です、調べましたところ、兎年は芽を出した植物が成長して、茎や葉が大きくなる年と言われています。さらに、うさぎは飛び跳ねる事から【飛躍の年】ともされています。

本年度こそ、大きな花を咲かせ【飛躍の1年】に期待したい所ではございますが、何よりも、1日も早いコロナの終息を切に願いたいと思えます。

そして、来年度はいよいよ京都協会設立60周年を迎えます。周年事業委員会を立ち上げて、準備をしていきたいと思えます。

お願い事ばかりで、申し訳ございませんが、皆様のご協力が無ければ、成功裏に終える事が出来ませんので宜しくお願い致します。

最後に、皆様のご健勝・ご多幸・ご繁栄を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も どうぞよろしくお願い申し上げます。

第32回 KBMAチャリティゴルフコンペ 2022年10月25日(火) 瑞穂ゴルフ倶楽部

第32回KBMA チャリティ
ゴルフコンペ MOVIE →



令和4年10月25日(火)、瑞穂ゴルフ倶楽部において、京都ビルメンテナンス協会主催で第32回目のKBMAチャリティゴルフコンペが総勢23名参加のもと開催されました。

今年は研修旅行が中止となり親睦事業が少なくなる中、チャリティの目的ではありますが参加各社にて交流と近況など多くの情報交換ができたのではないのでしょうか。

開会式では秋晴れの晴天でしたが時折、雨と強風に悩まされながらも少しずつ紅葉が始まった丹波瑞穂町の自然の中、スタートいたしました。広く早い瑞穂のグリーンに苦戦しながらも、それぞれが気持ちよくプレーを楽しめました。

ラウンド終了後の表彰式も藤井会長の挨拶にはじまりたくさんの各賞の発表で盛り上がりを見せました。

表彰式でも各組で情報交換と懇親を深められたのではないかと思います。結果発表を報告させていただきます。

広報委員会 山下 耕平

< ゴルフコンペ結果発表 >

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	山本 哲二 (株)LEE	40	38	78	6	72.0
2位	島田 千弘 (京都イソベ(株))	39	44	83	10.8	72.2
3位	山口 勝広 ((株)ワン・ワールド)	47	46	93	20.4	72.6

令和4年度 京都ビルメンテナンス業安全衛生大会 開催

2022年11月1日(火) 13:30~16:00 ハートピア京都 大会議室

安全標語
優秀作品
→



標記の京都ビルメンテナンス業安全衛生大会が3年ぶりに行動制限のない開催となりました。この大会は職場の安全と健康を守るために、安全衛生行政に基づく災害防止と従事者の健康管理に関する知識や実践策の習得を図り、第一線の管理者、監督者の日常的な管理能力を高めることを目的としており、たくさんの関係者の皆様ご参加いただきました。

はじめに、藤井会長から日頃の御礼とリアル開催ができた喜びと職場の安全を守る為に皆様一致団結しましょうとの挨拶があり、次に特別講習として京都労働局労働基準部健康安全課 課長 高木芳夫様に「労働災害発生状況から見るこれからの課題」として労働災害のデータを中心にお話をいただきました。2つ目の特別講習は京都府健康福祉部 理事の重見博子様から「コロナ時代を乗り越えるために出来ること」として

過去のスペイン風邪や流行病の話をお話をお話を聞きました。その後、休憩を挟み、

一般社団法人 CHIENOWA 代表理事の田中千恵子様から「持続可能な観光とツーリストシップ」をテーマに講演いただき参加者とのダイアログを交えツーリストシップについて知る機会となりました。そして 安全標語優秀作品の表彰式と大会の最後に、安全衛生委員会担当森田清孝副会長による「安全宣言」の唱和と閉会の挨拶があり、毎年恒例の抽選会も行われ、今年度の安全衛生大会は終了をいたしました。広報委員会 山下 耕平



令和4年度 京しごと技能検定 開催

2022年11月16日(水) 京都府立伏見港公園 体育館



京都府教育委員会主催の標記「京しごと技能検定」が無観客にて開催され、府立特別支援学校12校から130名の生徒が参加しました。当協会からは13名の協会登録講師が検定員、補佐員として参加協力させていただきました。

大会開催にあたり、ソーシャルディスタンス、検温の実施をもとに午前の部8校・午後の部4校と参加校を分けての開催となりました。当検定は、府立特別支援学校の生徒達による日頃の職業訓練の成果の発表の場であり、生徒達の向上心を育てつつ就労につながるスキルの習得と府民や企業から

の理解と信用を得ることで雇用の促進を図ることを目的としています。回を追うごとに支援学校や当協会の活動も認知され、徐々に社会に広まっていることを実感しております。検定は、乾式モップ・自在ぼうき・タオルのいずれかの1種を選択する「単一型」と、全てを合わせた「複合型」があり、種目毎12コートに分かれ行われました。認定証は後日各学校にて授与されます。技能検定といった公の場で自分の努力に対する客観的な評価得ることが、特別支援学校に通う生徒達の自信に繋がれば良いと思います。当協会は、今後も就労支援活動を続けることで社会貢献をしていきたいと思ひます。

広報委員会
藤井 正人



労働災害発生レポート



安全衛生委員会 中村 祐也 委員
会員企業の皆様、いつも京都ビルメンテナンス協会運営にご協力いただきありがとうございます。

今回は、ヒヤリ・ハットにつきまして、ヒヤリ・ハットとは、重大な事故や災害に発展したかもしれない出来事、ひやりとしたり、はったりすることです。「階段を踏み外し車道にかけた」「曲がり角で人とぶつかりそうになった」など日常生活のさまざまな場面で遭遇します。

私は、自身がヒヤリ・ハットした体験について、同じことが起るであろう状況にいる人に声掛けをするようにしています。「危ないですよ」や、「私共前〇〇でヒヤリとしました」等と伝えることで、危険予知ができるからです。職場だけでなく、家族や友人とも、是非ヒヤリ・ハット体験を共有し、事故や災害に遭うことを減らすきっかけになればと思います。

■事故の型別 (2022年9月~2022年11月)

区分	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突され	挟まれ 巻き込まれ	合計
人	1	2	0	0	0	0	0	6
区分	切れ こすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の 反動等	針刺し	その他	
人	0	0	0	0	1	2	0	

■年齢階級別死傷者数

区分	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	合計
人	0	2	0	0	0	2	2	6

■休業日数

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	合計
人	2	0	0	3	1	0	0	6

第42回 全国アビリンピック（全国障害者技能競技大会）

京都府代表 池田航太郎さん 銅賞受賞

2022年11月5日（土）～6日（日） 千葉県 幕張メッセ



令和4年11月5日、幕張メッセにて全国アビリンピック、ビルクリーニング部門競技が行われました。京都府からは、京都大会にて金賞を受賞された、京都市立鳴滝総合支援学校の池田航太郎さんが出場されました。結果銅賞と見事な成績を収められました。

地方予選を勝ち抜いた選手のレベルにビックリしましたが、池田選手も過去支援学校の先輩が入賞する中、自分も表彰台に立ちたいと思いつつ日々の皮が剥ける程、練習を重ねて来ました。競技終了した時は、本人もやり切った表情で誇らしげでした。観戦に訪れた学校関係者の方や親御さんもほっとした表情で池田選手に労いの言葉掛けておられました。京

都協会役員理事や会場に来られない方々沢山の応援を頂き有難御座いました。令和5年はどんな選手が出てくるか、楽しみにしています。



公益事業委員会 山崎 哲也

池田さんはこの全国アビリンピックで銅賞の功績を讃えられ、令和5年1月20日、京都市長より表彰されました。改めて、池田さん、おめでとうございます！この様子は、『KB Sニュース』『京都デイズ』でも取り上げられました。事務局 南部



アビリンピック2022
応援MOVIE →



アビリンピック2022
銅賞入賞 池田選手 →



市長表彰
の様子 →



令和4年度 貯水槽清掃作業従事者研修 開催

2022年11月17日（木）9：15～18：00 京都ビルメンテナンス協会 講習会場



令和4年11月17日（木）3年振りに会場を京都ビルメンテナンス協会講習会場に戻し、開催されました。

本研修は、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（以下、建築物衛生法）における、建築物飲料水貯水槽清掃業（第5号登録業）の登録及び登録更新に必要な研修で、年1回の更新のための受講も必要です。

今年もコロナの影響を考慮して、密を避けるため参加数24名での開催となりました。

開会の挨拶を当協会会長の藤井忍会長から頂き研修会が始まりました。研修は、京都府健康福祉部生活衛生課 半田様から、建築衛生法の内容説明として「建築物衛生法を中心とした関係法令について」の講義に始まり、京都府府民環境部公営企画課 水道行政・広域化係 福永様から、実例などを用いて分かり易く「水と健康について」の講義をいただきました。

その後、厚生労働省登録講師の志田 光則氏、深田 巧美氏からカリキュラムに沿って、「貯水槽の清掃方法について」「給水設備と機器について」「作業の安全と衛生について」

「貯水槽の消毒方法について」「貯水槽の塗装方法について」の講義を頂きました。

設備管理の仕事は、人が生活するうえで必要不可欠な仕事ですが、この研修で、特に飲料水は人体の健康に直結するものであり、そのためにも貯水槽清掃と維持管理が大切であり、併せて、作業を行う人の安全と健康状態も管理する事が大切であるという意識を持って、今後の業務に活かしてもらいたいと思います。

長時間の講義の締めとして、公益事業委員会 井上副委員長より、閉会の挨拶と修了証書が渡されて研修終了となりました。

講義の冒頭に知事登録制度の話があり、「登録していないからと言って業務が出来ないわけではない」という事を仰ってましたが、受講して登録する事で、貯水清掃業務に対する法的知識と技術知識を身に付けた「安心」と「信頼」の作業をお客様に提供できる会社であるという証明になると思いますので、研修受講と登録をお願いします。

来年以降もこの研修を受ける事により、多くの技術者が法的知識と技術知識を身に付け、社会に「安心」「安全」な環境を提供できればと思いますのでよろしくをお願いします。

受講生の皆さんお疲れ様でした。講師の皆様ありがとうございました。広報委員会 岡松 猛

第8回 KBMAボウリング大会 開催

2022年11月18日(金) 18:30より ラウンドワン京都河原町店

KBMA ボウリング
大会MOVIE →

標記日程にてKBMAボウリング大会を開催しました。今年
は、ゲーム終了後に親睦会も行い、表彰式をすることができ
ました。参加していただきました43名の会員企業の皆さん、あ
りがとうございます。昨年度優勝の藤井竜樹さん(株オンリー)
の始球式ではじまり、白熱の優勝争いが始まりました。

ご参加いただきました皆さん、ありがとうございました！

上位の方の成績発表です！！

- 第1位 金村 厚紀さん(株Beyond)
第2位 藤井 孝輝さん(株)オンリー
第3位 鎌賀 邦夫さん(株大興設備開発)

- 第4位 斉藤 優也さん(株オンリー)
第5位 長谷川 謙さん(株ジャパンファンリティーズ)
第16位 ☆渡守副会長賞☆
伊藤 正直さん(株ジャパンファンリティーズ)
第18位 ☆藤井会長賞☆
佐藤 一さん(株ジャパンファンリティーズ)

賞品をご提供いただきました藤井会長、渡守副会長ありが
とうございました。また次回、皆様と楽しい時間を過ごせます
ことを楽しみにしております。 事務局 臼井 裕美

**京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会 開催**

2023年1月13日(金) 18:00より ウェスティン都ホテル京都

動画で年賀の
ご挨拶 →

2023年、年頭を飾る恒例の(公社)京都ビルメンテナンス
協会新年賀詞交歓会が、1月13日(金)ウェスティン都ホテル
京都におきまして開催されました。ご来賓には京都労働局、
伊吹元衆議院議員議長、橋本聖子参議院議員、西協京都府
知事、門川京都市長を始め国会、府議会、市議会からも多く
の議員、並びに会員企業様にご臨席を賜り、盛大に開催さ
れました。進行ははじめに事務局作成の京都協会事業紹
介ムービーがスクリーンに映し出され開催ムードが高まりま
した。そして藤井会長よりご来賓への御礼と、昨年はコロナ
禍において試行錯誤をしながらオンラインを含め数々の事
業を無事に開催できたことに対して会員企
業への御礼 がありま
した。また、全国アピ
リンピックには11年連続
して入賞し、今年のア
ビリンピック世界大会
フランス大会への出場
を日本代表としてマイ・スター株式会社所属の下内寿也さん
が出場することになったことなど公益事業に加えて会員増強
の決意を含めて今後も協会として事業の充実を図ってい
きたいと年頭の挨拶がありました。



続いて京都ビルメンテナンス政治連盟より山口理事長から
春からの統一地方選挙に対する応援のお願いと全国議員連
盟橋本聖子会長、京都政治連盟顧問に対する御礼と挨拶が
なされました。続いてご来賓の方々より障がい者の就労支
援に対する取組や、アビリンピックにおける顕著な成績な
ど、日頃の京都協会の積極的な活動や取組に対する謝辞を
始め、祝辞を賜りました。

続いて京都ビルメンテナンス政治連盟より山口理事長から
春からの統一地方選挙に対する応援のお願いと全国議員連
盟橋本聖子会長、京都政治連盟顧問に対する御礼と挨拶が
なされました。続いてご来賓の方々より障がい者の就労支
援に対する取組や、アビリンピックにおける顕著な成績な
ど、日頃の京都協会の積極的な活動や取組に対する謝辞を
始め、祝辞を賜りました。



そして来賓紹介に続き、第16回ビルメン子ども絵画コンク
ールで全国協会長賞 金賞の洛南高等学校附属小学校の岡
田徹さんへ(公社)全国ビルメンテナンス協会 一戸会長より
表彰状が授与されました。次に全国アビリンピックで銅賞を
受賞した、京都市立鳴滝総合支援学校の池田航太郎さんに
藤井会長より表彰状が授与されたのち、新入会員紹介が各
企業代表より一言ずついただき、一戸会長の乾杯のご発声
によって華々しく開演いたしました。今年も多くの方々にご
参加を頂き、お互いに名刺交換や挨拶をかわしながら、一
年の健闘を誓いました。また、宴の間には藤井会長よりご厚
意の生ビールを、青年部が移動サーバーにて振る舞うとい
うサービスもあり、会場は盛り上がりを見せていました。中締
めの挨拶は京都ビルメンテナンス協会森副会長より一年の
願いをこめた力強い言葉があり、協会並びに会員各社の
益々の繁栄を
祈念して、今
年の賀詞交歓
会はお開きに
なりました。

広報委員会
山下 耕平



国際アビリンピック フランス大会日本代表に選ばれました！！

日本代表選手練習会 2023年1月～2月 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

2023年3月22日から25日までの4日間、フランス共和国メッス市にて開催されます国際アビリンピック大会のクリーニングサービス競技に、日本代表として下内寿也（シモウチ ジュニヤ）選手が選ばれました！

この大会は、2022年4月に中止となったロシア大会の代替大会で、今回派遣されるのは、2020年に愛知県で開催された第40回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）に於いて過去4年間の成績優秀者を含む各地区代表選手の中から選ばれました。下内選手は、この大会で銀賞を受賞されています。

当時、下内選手は京都府立丹波支援学校高等部3年生。国際大会へ出場できるかどうかの連絡を当協会も楽しみにまっていたましたが、世界情勢は深刻になるばかり…今回満を持して世界への切符を手に入れました！



2020年全国大会
銀賞受賞

2020年全国大会
下内選手
競技の様子



国際アビリンピックは、国連で定めた「国際障害者年」である1981年（昭和56年）に、第一回大会が東京で開催されました。以降、概ね4年ごとに開催され、日本は第9回国際アビリンピックまでに500人の職業技能競技選手等を派遣しています。



現在は、支援学校を卒業し、当協会の会員企業でもありますマイ・スター(株)で清掃の仕事に励んでおられます。清掃のお仕事とはいえ、国際大会の競技内容とは使う機材

も内容も全く違うため、仕事の合間に時間を作り、当協会に通って練習されています。これも職場の皆さんの応援とご協力があつてこそです。今回指導する当協会の山崎講師(マイ・スター(株))とは全国大会で銀賞を受賞した時からのご縁であり、下内選手の上達の早さに驚いておられました。練習2日目には新聞社等の取材もあり、記者の方にも国際大会に向けての想いをしっかり伝えておられました。下内選手が自分のもつ力を世界でも100%発揮できるよう、応援しています！



事務局 南部・臼井



目指せ！世界一！

会員の変更事項

【新入会員】

- 株式会社 正栄建設（準会員）
〒603-8123 京都府京都市北区小山下花ノ木町41-2
2023年1月1日付

【代表者役職名変更】

- ペンギンワックス株式会社（賛助会員）
代表取締役会長 藤本 公祥
2022年11月25日付

株式会社 阪和 京都営業所開設のお知らせ

この度、京都営業所を開設する事となりました。これを機会に皆様へのサービス向上の為、社員一同努力してまいります。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。
令和5年1月吉日 株式会社 阪和 京都営業部



【京都営業所】
〒612-8411
京都市伏見区竹田久保町62-1
足立ハイツ竹田222号
TEL 075-366-9772
FAX 075-320-2996

なんと！阪和さんの新しい営業所は京都ビルメン協会から徒歩6分！これからはご近所さんです！



Information (1月から3月の予定)

【公益事業委員会】

- アビリンピック全国大会銅賞受賞者
京都市市長表敬訪問
1月20日 京都市役所
- アビリンピック京都大会練習会
2月8日 京都協会 講習会場
- アビリンピック京都大会
2月19日 京都府立高等技術専門学校
- アビリンピック国際大会練習会
1月26、27日、2月未定
京都協会 講習会場

【総務厚生委員会】

- 新年合同賀詞交歓会
1月13日 ウェスティン都ホテル京都

【青年部会】

- 京都マラソン2023 清掃活動
2月17日 西京極総合公園周辺
- きょうと地域創生府民会議協賛事業
「ゴミの分別方法・トイレを掃除しよう・窓ガラスをふこう」
2月1日 動画配信

【国際貢献委員会】

- 相談対応
随時
- 在留期間更新許可申請
1月
- 定期監査
2月
- 帰国時送迎
2月

【広報委員会】

- KBMA ニュース Vol.100
(冬号) 1月発行



LINEアカウント
お友達登録
お願いします！

最新情報はホームページ、LINE アカウントにてお知らせいたします。